

キリナシ・セービング・新広角ノズルのブームスプレーヤでの反当散布量換算表

ノズル型式	ノズル孔径 (mm)	圧力 (MPa)	噴出量 (ℓ/分)	散布速度km/h(m/s)による10a当りの散布量(単位: ℓ)				
				1.5 (0.42)	2 (0.56)	3 (0.83)	3.5 (0.97)	4 (1.11)
N-ES-5	0.5	1.0	0.35	47	35	23	20	18
		1.5	0.43	57	43	29	25	22
N-ES-6 BHY-1P-6SY	0.6	1.0	0.51	68	51	34	29	26
		1.5	0.62	83	62	41	35	31
N-ES-7	0.7	1.0	0.68	91	68	45	39	34
		1.5	0.83	111	83	55	47	42
N-ES-8 BHY-1P-8DB N-KA-8R	0.8	1.0	0.90	120	90	60	51	45
		1.5	1.10	147	110	73	63	55
N-ES-9	0.9	1.0	1.13	151	113	75	65	57
		1.5	1.39	185	139	93	79	70
N-ES-10 BHY-1P-10R	1.0	1.0	1.41	188	141	94	81	71
		1.5	1.73	231	173	115	99	87
N-ES-11	1.1	1.0	1.69	225	169	113	97	85
		1.5	2.07	276	207	138	118	104
N-SVN-5SY	0.5	1.0	0.37	49	37	25	21	19
		1.5	0.46	61	46	31	26	23
NN-D-6		1.0	0.83	111	83	55	47	42
		1.5	1.01	135	101	67	58	51
		2.0	1.17	156	117	78	67	59
NN-D-8		1.0	1.24	165	124	83	71	62
		1.5	1.52	203	152	101	87	76
		2.0	1.78	237	178	119	102	89

10a当りの散布量 計算式  $Q=200 \times G \div V$

Q=反当散布量(ℓ/10a) G=ノズル1ヶ当りの噴霧量(ℓ/分) V=散布速度(km/h) 200=定数(ブームのノズル間隔が30cmの場合)

**!** 散布時のお願いと注意

- ① 散布の際は、ドリフト\*1が少しでも低減できるようにブームスプレーヤの散布圧力や速度を必要以上に上げる事のないようにし、作物とノズルの間隔を適正に保つように配慮して下さい。また、散布量の適正化(多くなりすぎないように)に注意して下さい。
- ② ドリフト低減ノズルは従来の一般ノズルと比較して、風に流されにくくなっていますが、散布作業は、ドリフト低減ノズルを過信することなく、立地、風(強弱と風向)、栽培状況(品種、生育、繁茂)、使用農薬の条件等を十分考慮して適正に行って下さい。
- ③ ドリフト低減ノズルを使用した場合でも、噴霧圧力が高くなると噴霧粒子径が小さくなりドリフトが発生しやすくなるため、適正圧力値内(カタログや取扱説明書等参照)で使用して下さい。ドリフト低減ノズルの防除効果は、作物や病害虫の種類等によって一定ではありませんので散布ムラのないように丁寧に散布して下さい。また、病害虫によって、農薬は効果の高いものや浸透性\*2に優れたものを使用されることをお勧めします。
- ④ 散布終了後は散布機器やホース・配管内の残液は必ず抜き、十分な洗浄をし、次回の散布薬剤が高濃度とならないよう注意して下さい。

- \*1 薬剤散布時に目的とする作物や圃場以外に薬剤が飛散する事。
- \*2 有効成分が葉の表面から裏面へしみ込む作用の事。

※ドリフトの発生及びそれに起因する問題の発生は、上述のように様々な条件により変化しリスクは一定ではありませんので、当社のドリフト低減ノズルを使用した場合でも、必ずしも、ドリフトの低減や問題防止をお約束するものではありません。

ご用命は下記の販売店へどうぞ



URL <http://www.yamaha-k.co.jp/>  
 本社・工場 ☎649-1442 和歌山県日高郡日高川町江川1280-1  
 TEL.0738-53-0321 FAX.0738-53-0929



古紙配合率100%再生紙を使用しています

060327-A5000

# ブームスプレーヤ用 散布ノズル



YAMAHAFHO

